

はまY^⑤U



光耀たる明日へ

撮影者：在宅介護支援センター ケアマネジャー 岸野 安希子

整形外科外来

診療日／月曜日～金曜日 午前
木曜日 午後

受付時間／午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間／午前9時～12時
午後2時～5時

担当：こいけ たつや 達也 部長
はしむら つよし 剛 医師
いわきりけんたろう 岩切健太郎 医師
ふくしま けんぞう 福嶋 賢三 医師
おかの ただし 岡野 匡志 医師
かわた けいじろう 川田啓二郎 医師

外科／消化器外科外来

診療日／月・火・木・金・土曜日 午前
水曜日 午後3時～（予約制）

受付時間／午前8時半～11時半
診療時間／午前9時～12時

担当：かとう しゅんじ 俊治 医長
はまだ さとし 濱田 哲司 医師

CONTENTS

- 理念・基本方針 2
- 新年のご挨拶 3～4
- 新採用医師のご紹介
地域ケア室健康教室について 5
- 診察室から ～終活と医療～ 6
- 各部署から ～看護部のご紹介～ 7
- コロナ禍を通じて感じたこと 8～9
- 第20回和歌山県病院大会 永年勤続者 会長表彰
職員募集広告 10
- 一週間のバランス献立 11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



公益財団法人日本医療機能評価機構 認定施設複合病院（一般病棟1・
リハビリテーション病院・慢性期病院）機能種別版機能評価項目3rdG: Ver.2.0



この製品は、FSC®認証材、再生資源、およびその他の管理原材料から作られています。

理念 基本方針

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にしたい医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。



公益目的事業へのご寄附のお願い

当法人の公益目的事業にご理解とご賛同をいただき、是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。皆様からの寄附金は、公益目的事業遂行のために有効に使用させていただきます。

事業目的

当法人は、白浜町及びその周辺地域の公衆衛生の向上と地域医療に関する事業を行い、もって地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。

事業内容(公益目的事業)

当法人は、国立病院等の再編成計画により廃止された元国立白浜温泉病院施設を、医療施設として再利用してほしいという地域住民の願いを実現するため、白浜町はじめ民間団体等の参画により開設された法人です。

現在白浜はまゆう病院、診療所、訪問看護ステーション、骨リウマチ疾患探索研究所を運営し、予防から治療、リハビリテーション、看取りまでの医療・ケアを提供し、地域医療の向上や地域住民、観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与する事業を行っています。

(1) 地域医療を主体とする病院の管理運営

(2) 救急医療の実施

(3) 介護保険法による介護医療院の運営並びに居宅介護支援事業及び指定居宅サービス事業等の実施

(4) 開放型病院による登録医への共同利用施設としての医療機器及び病床の提供

(5) 温泉を活用したリハビリテーションの推進

(6) 生活習慣病予防の健康診断及び健康増進並びにがん検診事業

(7) 無医地区及びへき地等における在宅療養支援診療所の管理運営

(8) 訪問看護ステーションの管理運営

(9) 医療・保健・福祉に関する調査研究並びに普及啓発

(10) 高齢者・障害者等の医療とケアに関する調査研究

(11) その他、この法人の目的を達成するための事業

税制上の優遇措置

当法人への寄附金には、特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除を受けることができます。(詳細は白浜はまゆう病院ホームページをご覧ください。)

寄附金の申込

白浜はまゆう病院ホームページに掲載しております寄附金申込書に必要事項をご記入の上、下記まで郵送・ファックスしてください。もしくは、下記までご連絡をお願い致します。

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地 白浜はまゆう病院内
公益財団法人白浜医療福祉財団 法人事務局
TEL 0739-43-6200 / FAX 0739-43-7891

皆様あけましておめでとうございます



白浜はまゆう病院
院長 辻本 登志英

わたしたちの財団・病院は、白浜町の皆さんが元気な時も病める時も最後まで安楽に過ごしていただけるように医療サービスを提供することを第一としています。本年も白浜町の皆さんのお役にたてるよう、職員一同力を合わせてがんばりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

2024 年はコロナ禍によって減少した一般診療をどのようにして以前の形に戻すかが課題となりました。現在全国の 7 割の病院がコロナ禍の影響を受け、経営に何らかの支障を来していると言われていています。当院もその例には漏れませんが、新型コロナウイルス感染症と向き合いつつ経営を立て直すというのが全国共通の認識です。当院では、減少した看護スタッフの増員に取り組み、少しでも多くの患者さんを受け入れられるよう工夫してまいりました。しかし、軽症といえども新型コロナウイルスの感染力は強く、昨年流行時には町内・近隣の皆さんにはご迷惑をお掛けしたことは町の病院として大変申し訳なく、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、今年目標を考えるにあたり、少し長い目で白浜町の将来を考えたいと思います。和歌山県の人口は急速に減少していますが、では白浜町ではどうでしょうか？白浜町の現在人口と 15 年後の 2040 年人口は次のようになると予想されています（数字は概数）。

	2025 年	2040 年
白浜町総人口	19,000 人	15,000 人
65 才以上人口	7,600 人	7,200 人
働き手の人口	9,600 人	6,900 人

白浜町は和歌山県平均よりもさらに早く人口減少が進むのです。そして将来 65 才以上人口は減るのですが、働き手人口はもっと減少します。これは高齢者を支える若い世代の負担が増えるということです。

つまり、将来だれもが心配なく暮らせる社会を作り上げるためには、高齢者対策は

当然のこととして、高齢者に対する若い世代の負担を少なくすることが課題となります。そこで、私たちのかかわる医療分野において、当病院の進むべき方向を決めるには次の3つが大切です。

一つ目は高齢者の健康寿命をのばすこと。これによって若い世代の負担を減らせます。これは健診・人間ドックやリハビリテーションが大きく役立ちます。

二つ目は医療・介護・福祉の機能分担と集約化です。人口の減少とともに患者さんの数も減少します。そこで専門性の高い疾患はこの病院で、リハビリテーションはこの病院で、といった病院毎の役割分担が必要になります。また介護・福祉については、施設の規模は大きければ大きいほど効率的に運用できますので、集約化が重要となってきます。

三つ目はお元気な高齢者を労働人口に組み入れることです。これは定年延長や再雇用など、働ける人の年齢上限を上げることであり、今もすでに取り組まれ始めていることでもあります。

これをもとに今年も昨年同様に目標を掲げたいと思います。

- (1) 白浜町の皆さんの急病や慢性病は必ずまず当財団・病院で診ます。そして当院で行える治療であれば当院で、また専門治療が必要であれば他の病院施設を紹介します。急性の時期を過ぎれば、再び退院までを当院で診ます。
- (2) リハビリテーション治療ははまゆう病院が紀南地方の中心となるように、さらに充実させます。
- (3) 健診・人間ドックは元気な皆さんが寿命を延ばすための安心手形ですので、人材機材を充実させてさらに大きくしたいと考えています。
- (4) 介護・福祉は、当財団が地域のセンターとなることを目標とします。

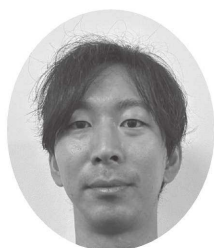
私たち職員はこの目標に向かって、患者さんや利用者の皆さんに十分なサービスを提供できるよう日々努力いたします。そして皆さんのお力によってこの財団・病院を育てて頂きますようお願いいたします。

財団・病院が皆さんに行う医療は、「ひと」と「もの」で決まります。「ひと」の力で「もの」をうまく使えば、最良の医療が提供できます。ですので「ひと」の教育は終わりのない課題であるとともに、時代に合った医療機器導入などは継続して投資の必要な事業です。これには財団の努力は当然として、町からのご支援もお願いしているところです。

当財団・白浜はまゆう病院は地域密着型の施設として、質の高い「良い医療」を提供することが使命です。この使命を掲げて 1 人 1 人がプロフェッショナルを意識して取り組みます。

皆様方には今後も変わらぬご指導、ご支持を頂けますようお願いいたしまして新年を迎えるに当たってのご挨拶とさせていただきます。

新採用医師のご紹介



かわた けいじろう
川田 啓二郎 医師 整形外科

大阪公立大学医学部附属病院整形外科より、10 月から赴任させていただきました川田啓二郎と申します。

6 カ月という短い期間ではありますが、白浜の医療に少しでも貢献できるよう尽力し、魅力的な白浜での生活も楽しみたいと思っております。よろしくお願いいたします。



はまだ さとし
濱田 哲司 医師 消化器外科

京都府立医科大学附属病院 消化器外科より 12 月から赴任させていただきます濱田哲司と申します。

4 ヶ月という短い期間ではありますが、白浜にお住まいの方々の健康に少しでも貢献できるよう尽力させていただく所存です。また魅力的な白浜での生活も満喫しようと思っております。よろしくお願いいたします。

地域ケア室健康教室について

白浜はまゆう病院では、公益活動の一環として地域の皆様方の健康増進に寄与することを目的に、年に2回「健康教室」を開催しています。第1回目(6月24日)の参加者アンケートを基に、第2回目「健康教室」を去る11月28日に開催しました。テーマは、心理相談室 森口浩司主任公認心理師による「こころとからだのつながり」と食養科 十河舞管理栄養士による「食べてアクティブに動こう！」で、36名の方々にお集まりを頂きました。

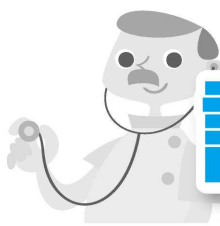
森口主任公認心理師の講演では、こころと身体の関係やストレスから起こるからだの不調についてのお話がされていました。講演最後にストレスを和らげるリラクゼーションとして、呼吸法と筋弛緩法が紹介され、軽いストレッチ体操を参加者全員で行なわれました。

食養科 十河舞管理栄養士の講演では、加齢による筋肉の衰え(フレイル)を予防する為に必要なエネルギーやたんぱく質についてのお話があり、食事バランスガイドを用いて1日の献立例が紹介されていました。また、バランス良く摂取できる工夫なども具体的に紹介され、聞きながら講演を聴かれる参加者の姿が印象的でした。それぞれの講演後には、参加者の方からいくつかの質問もされていました。講演後も個別相談に対応されており、成功裏に幕を閉じることができました。

参加の回数を重ねて頂いている方はまた来年度も、まだ参加されたことがない方は、ぜひ一度足をお運びいただき、ご自分のからだに向き合う時間をもってみませんか？

来年度の開催テーマ・時期については鋭意検討中です。「皆様のお役に立てる」「関心を持たれている」テーマで開催していきたいと考えていますので、告知をお待ちいただけると幸いです。





診察室からのお話

～終活と医療～

「終活」というと お墓、お葬式を決めておく、財産や相続をまとめておく、荷物を片付けておくなどが一般的なイメージですが、本来の意味は 人生の終わりをよりよいものとするために、まず自分が「終(しま)われていずれ死を迎える」ことを避けずに見つめ、そのために残りの人生においてすべきことを考え行動する活動をいいます。

「死」は人生の遠い端に待っているものではなく、いつ目の前におとずれるかわからないものです。年齢を重ねるだけで「悟り」はひらけず、これまで生きていたようにしか死ねません。残りの人生をより良いものとするためには 高齢となっても「人生の質」を高める謙虚さと向上心が必要です。また終末期に家族と良い関係でありたいと希望するのであれば、これまでの家族との関係性を見つめなおすことも重要です。家族に介護を受けることを当たり前のこととせず、配慮や感謝を忘れず、言葉や行いで伝えてほしいと思います。

残りの人生を充実したものにするためには、死ぬまで健康で、自立した生活を送りたいものです。病気を抱え介護の必要な状態の原因となる、「運動器の障害」や「生活習慣病」「認知症」は、予防と早期発見早期治療が重要です。これらの病気の予防のためには適切な運動と食事、禁煙が必要で、早期発見のため検診を活用し早期治療につなげることで、これらの病気を人生から遠ざけることができます。

人生の最後をどこで過ごすかを考えることも重要です。自宅で最後を迎えたいのであればまず配偶者・子供にしっかりその意思を伝え共有する、介護スタッフと相談して安全で快適な自宅療養環境を整備する、自分のニーズに合った在宅介護サービスを利用するなど準備が必要です。施設については「施設入所はゴールではなく再出発」と考えてほしいです。残りの人生を前向きに考えたうえで、自分のニーズに合った施設を選んでください。施設選定にあたっては、切羽詰まる前の余裕のある間に情報収集と実際に見学をして、費用面や終末期の看取りについても確認してほしいと思います。

最近は終末期を病院で迎えることがほとんどとなっており、医療と看護、介護がすべて受けられて安心ではあります。ただしがんや認知症、老衰など、改善の見込みなく進行性で、近い将来の死が避けられない状態では、自分の意思を適切に伝えることができなくなっていることが多いため、希望しない過度ながん治療や、延命治療（人工栄養や人工呼吸、人工透析など）が施行されて、かえって人生の質が低下し、思うような人生の最後とならない場合があります。まだ元気で判断力が保たれている間に、終末期医療に関する知識を得て考えをまとめ、ご家族とよく話し合っ自分の意思を伝えてほしいと思います。



脳神経内科 部長
中西 一郎

各部署から



～看護部 若手・中堅・管理職インタビュー～

本館4階 岩見 百華 看護師

Q

新卒で当院を希望したきっかけは

A

地域に根差した病院であり、患者様の生活に合わせた個性のある看護がしたいと思ったからです。奨学金制度があり学費に充てることができたことや、病院から見える白良浜が本当に綺麗で感動したからです。

Q

仕事のやりがい・楽しいと思える瞬間

A

できることが増えていく時、先輩に褒めてもらえるので嬉しいし、やりがいを感じます。患者様が笑顔で話をしてくれる時や、ローカですれ違ったときに私の名前を呼んでくれた時、名前を覚えてくれたんだと思って嬉しいです。

Q

仲間・先輩上司との関係性について

A

同じ看護学校の先輩や後輩がいますし、地元に住っている先輩方で、中には知っている方もいるので相談しやすいし、後輩からも相談を受けるので、お互いに分からないことを先輩後輩に相談して頼りやすい関係です。

南館5階 興田 加奈子 主任看護師

Q

当院に戻ってきたきっかけは

A

院内保育所があり休暇が取得しやすいなど、子育てしやすい環境にあったので戻ってきました。

Q

当院ならではの魅力は

A

ケアミックス型の病院なので、急性期から慢性期、終末期までの全てのステージを看れることはすごく魅力的かと思います。

Q

当院のおすすめポイント

A

看護技術が不安に思っている人とか、その看護過程が難しいなと思うことがあっても、しっかりと病棟内でバックアップできるので不安なく働けるかなと感じます。

小川 龍介 副看護部長

Q

当院の特徴と魅力

A

ケアミックスの病院で、健診センターや訪問看護ステーション、白浜町保健センター、サテライトの診療所もあり地域に根差した病院であることが特徴です。また白良浜が一望できるので、患者様が療養するという所なら最高の環境ですし、働く私たちにとっても海を見ると癒され、働いていてもとても気持ちのいい病院だということを感じます。

Q

新採用・中途採用職員の教育について

A

新人用に年間を通じて教育プログラムを立てています。中途採用職員については、経験・年齢別に応じた院内ラダーを採用して教育プログラムを立てています。e ラーニングを採用しているので、各個人にアカウントを配布し、自分の好きな時間に学習ができる体制を取っています。院外研修へも積極的に参加しています。

コロナ禍を通じて感じたこと

今年も冬の感染症対策の原稿を依頼される時期が来ました。感染対策の具体策のお話はみなさんもう聞き飽きてお腹いっぱいだと思いますので、今回は、私がコロナ禍を通じて感じたことについてお話してみようかと思います。

今の時代、科学技術の進歩が、かつて不可能だったことを瞬時に可能にし、諦めなければならなかったこと

を諦めなくてもよくしてくれ、様々な制約を次々に取り除いてくれるようになりました。しかしその一方で、思い通りにスuisイ事が運ぶことが多くなった分、思い通りにならないことがあると、すぐにイライラするようになってしまいました。もっとできるはずだと諦めが悪くなりました。例えば、カスタマーハラスメント対策条例が制定されるような世相もその1例だと思いますが、店員を一人の人間として尊重するだけの心の余裕がなく、ただ自分の欲求を満たすことしか考えられない消費者が増えているように思います。しかし、そもそも私たちが人とコミュニケーションを交わすとき、期待通りの反応を相手がしてくれないということは、日常茶飯事なはずですね。私も前職は大学の癌研究者でしたが、頭で考えた仮説（思い込み）の通りに結果が出ないのが普通だから、何度も実験して検証し、横道に逸れては新たな発見をするというのが仕事になるわけです。クレーマーやモンスターペアレントが増えているという世相は、どうも状況を自分の思うようにコントロールしないと気が済まない人、つまり「思い通りにならないことへの耐性が低い人」が多くなっているように感じてなりません。

コロナ禍を通じて、私は感染症対策についても同じようなことを感じました。人々の行動制限や mRNA ワクチンといった新技術をもって、人間の思う通りになるよう自然をコントロールしようとした結果はどうだったのでしょうか？思い返すと様々な対立、誹謗中傷が世間にあふれるこの5年間であったように思います。プレッシャー



泌尿器科部長
感染対策委員長
木村 泰典

に耐えかねて燃え尽きてしまう医療従事者も見られました。「自然は人知を超えたものであり、そもそも思い通りにはいかないもの」という謙虚な観点があれば、もう少しお互いを尊重し、思いやる対策がとれたのではないかなと思います。

今から二千五百年前、お釈迦様は「生まれ、老い、病み、死ぬことをはじめ、すべては思い通りにならないものである」という真理を説かれました。その通りだなと思います。人間である以上、病気するのも当たり前です。現代人は思い通りにならないことを思い通りにしようとして、いつも四苦八苦しているように見えます。しかし、自分が万能ではないことを自覚した人間は、他者と助け合い、協力していこうとするようになれると思います。心に手を当ててみてください。100% 正しく、素行のよい善人なんてこの世の中に存在しますか？相手の事情も考えてあげて、自らの不完全さを人間関係を通して補っていこうとする考え方になれるのではないかと思います。

今、私たちにとって大切なことは、行き過ぎた思い込みをゆるめ、「自分の外に広がる世界は自分の思い通りにはならない」「大自然も人生も人知を超えたものだ」という謙虚な姿勢を取り戻し、世界や人生と向き合うことではないでしょうか。自分の力で何とかできそうなことに対してはもちろんベストを尽くしますが、自分の力でどうにもできないことに対しては勇気をもって現実を直視し、あきらめて、あるがままに受け入れ、心に折り合いをつけてバランスを取って人生を歩んでいく。そのような生き方をしていきたいものです。

第20回和歌山県病院協会永年勤続者会長表彰



公益社団法人和歌山県病院協会主催の第20回和歌山県病院大会にて、下記5名の職員が、同一病院において、20年以上勤務し、職務に精励した方に送られる永年勤続者会長表彰を受けました。

- 看護師長 田中 美代 ● 事務員 玉置 富士子 ● 放射線科長 裕 保之
- 介護福祉士 山本 公子 ● 情報管理室・医療の質管理室長 尾崎 伸次

職員募集



採用時期／随時 試験日は追って連絡します

- 看護師
- ケアマネジャー
- 看護補助者
- 作業療法士
- 介護福祉士
- 言語聴覚士
- ケアマネジャー兼病棟介護職員
- 診療放射線技師
- 事務員(管理監督職候補)
- 薬剤師
- 事務員(一般事務(新卒)/医療事務/健診センター事務/放射線受付)

◇ 単身者用住宅あり
(看護師)

◇ 経験者優遇します

◇ 見学随時受付中

※ 詳細は、ハローワーク田辺
もしくは下記までお問い合わせ
ください。

応募方法/履歴書、職務経歴書(職歴をお持ちの方)を送付して下さい。

お問い合わせ先

公益財団法人
白浜医療福祉財団

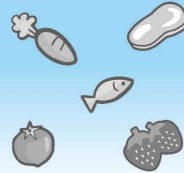
白浜はまゆう病院 総務課

TEL.0739-43-6200 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447

URL: <https://www.hamayu-hp.or.jp/>



一週間の バランス献立



食養科
古井 啓詞

管理栄養士が伝えたい日々の食事のポイントについてご紹介いたします。

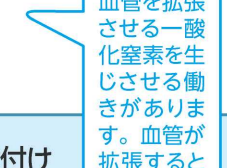
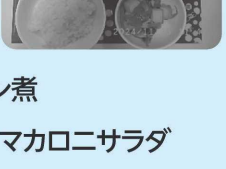
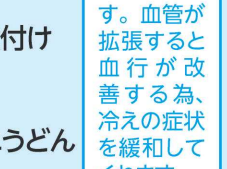
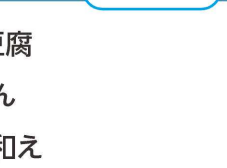
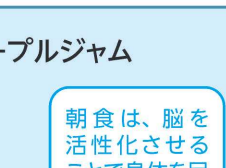
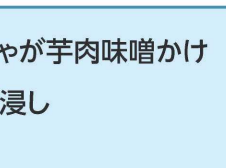
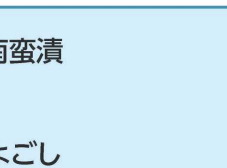
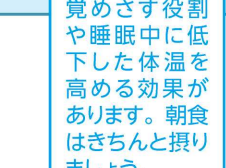
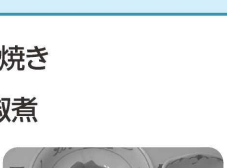
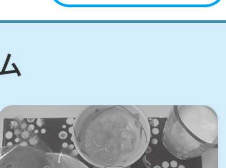
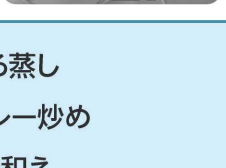
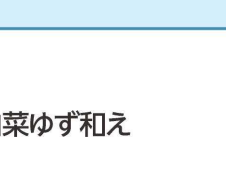
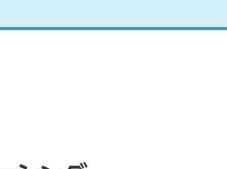
食事の基本は主食・主菜・副菜をバランス良く組み合わせることです。

1週間を目安に色んな食材で、調理法・味つけ等を工夫しながら食事を楽しんでみてください。

組み合わせることで様々な種類の栄養素を摂ることができます。

栄養素の豆知識 鉄について

・赤血球の材料となり、不足すると貧血を発症します。・赤血球中のヘモグロビンや筋肉中のミオグロビンというタンパク質の構成成分となり、体内に取り込まれた酸素を全身に運ぶ大切な働きがあります。多く含む食品：ほうれん草、肉、魚、豆、レバー、切り干し大根、海藻など

	朝	昼	夕
日	米飯・味付海苔・卵とじ 味噌汁・牛乳 	米飯・鶏のつくね煮 南瓜いとこ煮 海草サラダ 	米飯・鯖の塩焼き 白菜ナムル・粕汁 
月	ロールパン・ オムレツ マーマレード・牛乳・果物 	米飯・ 鶏ささみのレモン煮 豆腐チャンプル・マカロニサラダ 	米飯・金目鯛の煮付け しろな辛子和え ちゃんぽん風ミニうどん 
火	米飯・ふりかけ チンゲン菜のゴマ醤油和え 味噌汁・牛乳 	米飯・回鍋肉 白菜炒り煮 ツナサラダ 	米飯・揚げ出し豆腐 里芋のきのこあん ほうれん草めた和え 
水	ロールパン・メープルジャム 人参しりしり 牛乳・果物 	米飯・エビ玉・じゃが芋肉味噌かけ ほうれん草のお浸し 	米飯・白身魚の南蛮漬 豆乳チャウダー キャベツのゴマよごし 
木	米飯・味付海苔 だし巻き卵 味噌汁・牛乳 	ジャージャー麺 春菊土佐和え 果物 	米飯・鶏肉のくわ焼き 長いもきのこ山椒煮 フレンチサラダ 
金	ロールパン・ジャム スープ煮 牛乳・果物 	米飯・鮭のとろろ蒸し カリフラワーカレー炒め ほうれん草の磯和え 	米飯 ハンバーグ 厚揚げの煮物・和風サラダ 
土	米飯 ふりかけ・牛乳 菜種和え・味噌汁 	米飯・筑前煮 うぐいす煮豆・白菜ゆず和え 	米飯・鱈の梅煮 じゃが芋含め煮 サラダ韓国風ドレッシング 

酒粕には、血管を拡張させる一酸化窒素を生じさせる働きがあります。血管が拡張すると血行が改善する為、冷えの症状を緩和してくれます。

朝食は、脳を活性化させることで身体を目覚めさせる役割や睡眠中に低下した体温を高める効果があります。朝食はきちんと摂りましょう。

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診 療 科			月	火	水	木	金	土
内 科	内科1(初診)	午前	田村 志宣	加藤 寛正	竹井 陽	玉置 佑麻	中西 一郎	当番医
		午後						
	内科2(予約制)	午前	竹井 陽	伊藤 揚莊		松尾 晃次	辻本 登志英	
		午後		松尾 晃次		岡 宏保		
	内科3(予約制)	午前		辻本 登志英	中村 信男	谷口 友志	加藤 寛正	高村 竜一郎
		午後	中村信(第2・4)	木下 正博	中村 信男	山崎 幸茂 (診察は内科1使用)	加藤 寛正	
	内科4(予約制)	午前		松本 潤				
		午後	松本 潤	岡 宏保		竹井 陽 (禁煙外来)		
	内科5(予約制)	午前			辻本 / 谷口	伊藤 揚莊		
		午後				松本 潤	谷口 友志	
外科／消化器外科		午前	濱田 哲司 (手術時休診)	加藤 俊治 (外科/風経ヘルニア外来)		加藤 俊治	濱田 哲司 (手術時休診)	当番医
		午後			加藤 俊治 (予約15:00～)			
整形外科1(予約制)		午前	橋村 剛		小池 達也		岩切 健太郎	
整形外科2		午前	川田 啓二郎	岡野 匡志	橋村 剛	川田 啓二郎	橋村 剛	
		午後				福嶋 賢三		
整形外科3(予約制)		午前			岡野 匡志 (検査のみ)			
リウマチ専門外来(予約制)		午前		小池 達也		小池 達也		
装具外来		午前		装具外来(風呂谷)		装具外来(風呂谷)		
小児科		午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋
		午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋	古久保 和洋	
婦人科		午前	小柴 寿人	小柴 寿人	小柴 寿人	小柴 寿人	竹内 理佳	
		午後	小柴 寿人	小柴 寿人	小柴 寿人	小柴 寿人	竹内 理佳	
乳腺外科		午前	粉川 庸三	粉川 庸三		粉川(予約)	粉川 庸三 (予約外10:30まで)	
脳神経内科(予約制)		午前	中西 一郎 (予約不要)	中西 一郎 (予約不要)				
		午後		石口 宏		小口 健		
泌尿器科		午前	木村 泰典	第1・3・5村下 / 第2・4高橋	木村 泰典		木村 泰典	
		午後	木村 泰典(予約)	木村 泰典(予約)	木村 泰典(予約)		川嶋 秀紀(予約)	
皮膚科		午前						県立医大
		午後	県立医大					
眼 科		午後			田中 公子		第1・3・4・5田中 / 第2田村	
耳鼻咽喉科(予約制)		午後				県立医大		
脳神経外科		午前			中井 三量	伊藤 雅矩		
		午後				中北(予約)		
循環器外来(予約制)		午前			中村 信男			
		午後	中村信(第2・4)	岡 宏保	中村 信男	岡 宏保		
呼吸器外来(予約制)		午前				松尾 晃次		
		午後		松尾 晃次				
消化器専門外来		午前		加藤 寛正		谷口 友志	加藤 寛正	
		午後					谷口／加藤	
循環器・高血圧専門外来(予約制)		午前						担当医(月2回)
膠原病・糖尿病専門外来(予約制)		午前		伊藤 揚莊		伊藤 揚莊		
リハビリテーション専門外来(予約制)		午後				風呂谷 容平		
通院リハビリテーション外来		午前	谷口 友志	風呂谷 容平	担当医	風呂谷 容平	風呂谷 容平	
		午後	國部 久也	中西 一郎	谷口 友志	國部 久也	松尾 晃次	

※水・金曜日午後 眼科・・・予約外は先着5名までとさせていただきます。※診療担当医が変更になる場合がございます。ご了承下さい。

2025.1～

受付時間		診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	※診療時間外(夜間・休日)に具合が悪くなったときは、日時に関係なく白浜はまゆう病院へ電話でご連絡ください。
循環器外来(水)	(予約制)	9:00～11:30	
		14:00～16:30	
皮膚科(月)	13:00～15:15	13:00～15:30	
眼科(水)(金)	13:30～15:30	14:00～16:30	
耳鼻咽喉科(木)	(予約制)	14:30～17:00	



公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 大江 康弘 ●院長 辻本 登志英

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】info@hamayu-hp.or.jp 【URL】https://www.hamayu-hp.or.jp/

- 西 富 田 ク リ ニ ッ ク
- 鮎 川 診 療 所
- 日 置 診 療 所
- 三 舞 診 療 所
- 川 添 診 療 所
- 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン た ん ぼ ぼ
- 通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン セ ン タ ー

- 〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地
- 〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3
- 〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1
- 〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地
- 〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地
- 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地
- 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

- TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678
- TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005
- TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192
- TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001
- TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037
- TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682
- TEL.0739(43)8190 FAX.0739(43)8189

◇2025年1月発行 編集・発行／公益財団法人白浜医療福祉財団